

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、このたび下記項目につきまして検査内容を変更させていただくこととなりましたので、
ご案内申し上げます。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

(記)

■ 変更内容一覧

令和4年9月30日(金) 受付分より

コード	項目名称	変更箇所	新	旧	備考
384	TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb) (甲状腺刺激抗体)	検査方法 検体量 基準値 報告下限 報告上限 備考	バイオアッセイ法 血清 0.4mL 110 未満 % 92 未満 % 1200 以上 % 溶血検体では測定値が低下傾向となる場合があります。 血清以外は検査不可。	EIA 血清 0.5mL 120 以下 % 0 % 9990000 以上 % 血漿は検査不可。	※1
218	I 型コラーゲン架橋N-テロペプチド (NTx) (尿) [骨代謝]	報告様式	・NTx濃度 ・クレアチニン換算値	・クレアチニン換算値	※2
479	I 型コラーゲン架橋N-テロペプチド (NTx) (尿) [腫瘍マーカー]	報告様式	・NTx濃度 ・クレアチニン換算値	・クレアチニン換算値	※2

※1. 測定試薬の変更

※2. 最終委託先の報告様式に準拠

令和4年10月1日(土) 受付分より

コード	項目名称	変更箇所	新	旧	備考
2892	25-OHビタミンD〔骨粗鬆症〕	報告上限	120.0 以上 ng/mL	100.0 以上 ng/mL	※3
2844	25-OHビタミンD〔くる病〕	報告上限	120.0 以上 ng/mL	100.0 以上 ng/mL	※3
2769	トキソプラズマ抗体IgG	所要日数	2～3 日	3～4 日	※4
2770	トキソプラズマ抗体IgM	所要日数	2～3 日	3～4 日	※4
833	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	基準値 報告下限	24.0～34.0 秒 21.0 未満 秒	25.0～38.0 秒 17.0 未満 秒	※5
318	フィブリノーゲン	報告上限	900 以上 mg/dL	∞ mg/dL	
213	血中FDP	報告上限	960.0 以上 μg/mL	∞ μg/mL	
2502	Dダイマー精密	報告上限	800.0 以上 μg/mL	∞ μg/mL	

※3. 改良試薬への変更

※4. 最終委託先の変更 (LSI メディエンス → シー・アール・シー総合研究所)

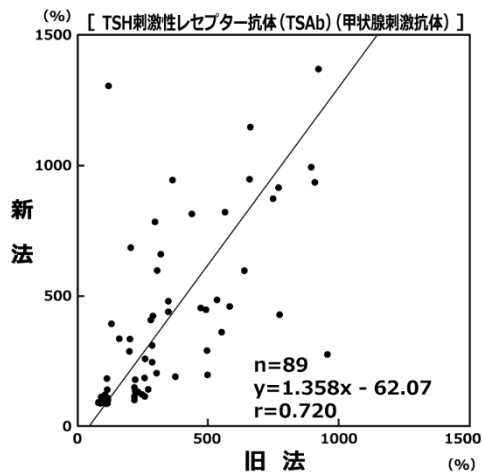
※5. 高性能試薬への変更

■ 検査受託中止一覧

令和4年9月29日(木) 最終受付

コード	項目名称	中止理由	代替項目
652	抗甲状腺サイログロブリン抗体 (サイロイドテスト)	測定試薬の販売中止	[249]抗サイログロブリン抗体 (Tg-Ab)
653	抗甲状腺マイクロゾーム抗体 (マイクロゾームテスト)		[194]抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)
169	抗ストレプトキナーゼ (ASK)		[203]ASO定量 (ASLO)
581	アスペルギルス抗体		-

■ 新旧二法の相関



(委託先検討データ)

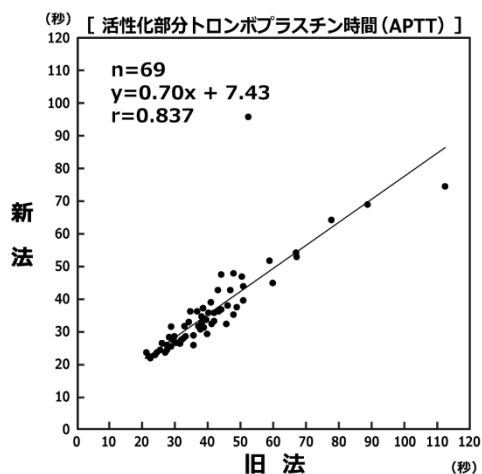
		旧法		計
		陽性	陰性	
新法	陽性	46	6	52
	陰性	1	36	37
計		47	42	89

陽性一致率:97.9% (46/47)

陰性一致率:85.7% (36/42)

判定一致率:92.1% (82/89)

(委託先検討データ)



(社内検討データ)

■ 参考文献

TSH刺激性レセプター抗体・・・・・・・・・・保科元気, 他: 医学と薬学 79(8): 1079-1086, 2022.

田上哲也, 他: 医学と薬学 79(8): 1087-1095, 2022.

活性化部分トロンボプラスチン時間・・・・・・・・・・O.kumano et al:Journal of Thrombosis and Haemostasis Vol.10.2338-2343(2012)

以上